



安全データシート

1. 化学品及び会社情報

Texclad 2

推奨用途および使用上の制限： 工業用グリース

製品番号： 219570, 530436

会社情報

Chevron Singapore Pte Ltd

3 Fraser Street #12-28

DUO Tower

シンガポール 189352

運輸上の緊急事態に対する対応

シンガポール市民防衛庁： 995

健康上の緊急連絡先

シェブロン緊急時/情報センター： 米国内にあります。国際コレクトコールを受け付けます。(800) 231-0623 または (510) 231-0623

製品情報

製品情報： +65-6318-1000

SDS依頼： +65-6318-1000

2. 危険有害性の要約

分類： 日本の規制ガイドラインによる危険有害物として分類されていません。

3. 組成及び成分情報

本品は混合物である。

構成成分	CAS番号	量
高度精製鉱物油 (C15 - C50)	混合物	50 - 69 %重量
グラファイト	7782-42-5	20 - 24 %重量
脂肪酸、カルシウム塩	通商秘密	8 - 12 %重量
二硫化モリブデン	1317-33-5	1 - 5 %重量

4. 応急措置

眼： 特別な救急処置は必要ない。予防措置として、コンタクトレンズを装着している場合はコンタクトレンズを外し、水で眼を洗浄する。

皮膚： 具体的な救急処置は必要ありません。予防措置として、汚染された衣類と靴を脱ぐこと。皮膚から物質を取り除くため、石鹸と水を使用すること。汚染された衣類と靴は廃棄するか再使用前には

完全に洗うこと。

飲み込み：具体的な救急処置は必要ない。嘔吐を誘発してはならない。予防措置として医師の診察を受けること。

吸入：具体的な緊急処置は必要ない。空気中の大量の物質に暴露した場合は、新鮮な空気のところへ移動させる。咳や呼吸苦が起こる場合は医師の診察を受けること。

医師への注記：高圧設備を巻き込んだ事故では、本製品が皮下に入る可能性がある。そのような場合、皮膚の傷はほんの小さな、時には出血を伴わない穿孔に終わることもある。しかしながら、推進力が強いために、指先に入った物質が手掌全体に及ぶことがある。24時間以内に通常、腫脹、脱色、強度の拍動痛が大きな問題となってくる。直ちに救急外科センターにて処置することを推奨する。

5. 火災時の措置

消火手段：水の噴霧、泡、粉末消火剤または二酸化炭素で消火する。

異常な火災による危険：この種の物質が入っている高圧システムの漏れ/破裂は、付近に引火源（むき出しの炎、種火、火花、放電など）があれば火災を引き起こす。

使ってはならない消火剤： 利用可能なデータなし

消防士の保護：

消火活動説明書：本物質は容易には引火しないが可燃性である。 適正な取り扱いや保管については第7章を参照のこと。 本物質を巻き込んだ火災の場合、自蔵式呼吸装置を含む適切な防災装備を身につけていない者は密室あるいは閉所となっている火災場所に入ってはいけない。

可燃性製品： 燃焼条件に強く依存している。本物質が燃焼すると、一酸化炭素、二酸化炭素、未確認の有機化合物などを含む浮遊する固体、液体、およびガスの複合混合体が放出される。 燃焼により下記の酸化物を生成する可能性がある： モリブデン、カルシウム、硫黄

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：

流出した物質に近接する着火源はすべて取り除くこと。

環境に対する注意事項：

安全に実行できるなら放出源を止める。土壌、表面水または地下水を更に汚染することを防ぐため、放出物を封じ込める。

封じ込め及び浄化の方法及び機材：

曝露コントロール/人員保護の項の注意事項にしたがって、流出物を直ちに清掃する。「暴露防止および保護措置」に記載された予防措置を順守し、流出物をできるだけ早く取り除く。不燃性吸収材またはポンプの使用などの適切な方法を用いる。可能であり適切であれば、適切な要求に合致する方法により汚染した土壌を取り除き廃棄する。他の汚染した材料を廃棄容器に入れ、適切な要求に合致する方法で廃棄する。

報告：

流出が生じた場合、適切なあるいは要求される地方自治体に報告する。

7. 取扱い及び保管上の注意

一般取り扱い情報：土壌を汚染したり下水や排水システム及び水域に本物質を垂れ流すことを避けてください。

予防手段：火災、火花、高熱の表面に近接した高圧システム内で使用しない。換気の良い区域でのみ使用する。容器を閉じておく。

静電的危険性：静電気が蓄積し、本物質を取り扱うには危険な状態になることがある。この危険性を減

小さくするため、連結やアースが必要になるが、それだけでは十分とは言えない。静電気の蓄積および引火する状況を生み出す可能性のある操作過程（タンクや容器の充填、飛び散るような充填、タンクの掃除、サンプリング、測定、荷積みの交換、ろ過、混合、攪拌、バキューム操作など）を再評価し、適切な軽減方法を採用すること。

容器の警告：容器は、圧力に耐えられるようには設計されていない。空の容器に圧をかけないこと。圧をかけると爆発的に破裂することがある。空になった容器には製品の残渣（固形物、液体、および/または蒸気）が残っており、危険である。圧をかけたり、切断したり、溶接したり、鉗付けしたり、はんだづけしたり、穴を開けたり、研磨したり、熱、火災、火花、静電気、その他の発火の源に曝したりしないこと。爆発して死傷者を出すことがある。空になった容器は内容物を完全に排出し適切に栓をして、迅速にドラム缶修理に回すか廃棄する。

8. ばく露防止及び保護措置

一般的要件：

工業的制御法をデザインし、個人用防護具を選択する場合（PPE）、本物質の有害な可能性（セクション2を参照）、適用可能な曝露限界値、作業活動、および作業現場の他の物質などを考慮する。工学的管理や作業慣行では本物質の有害濃度に対するばく露を十分に防止できない場合には、下記のPPE情報を参照のこと。

PPEに影響を及ぼす因子として以下が挙げられるが、これらに限定されるものではない：化学品の特性、同じPPEに接触する可能性のある他の化学品、物理的要件（密着性及び寸法、切断／穿孔に対する保護、手際の良さ、熱的保護など）、及びPPE材料に対する潜在的アレルギー反応。通常、保護は限定された時間又は一定の状況下に対して提供されるので、保護具と共に提供されるすべての指示及び使用上の制約を読み、理解することは、使用者の責務である。

設備対策：

換気の良い場所で使用する。

保護具

眼/顔面の防護：眼に入らないよう保護具を着用する。保護具については、作業内容に応じて安全眼鏡、化学ゴーグル、保護面若しくはそれらの組み合わせから選択する。

皮膚の保護：化学物質用の個人用保護具（PPE）を着用して皮膚との接触を防ぐこと。化学防護服の選択は、労働衛生の専門家又は安全性の専門家が、適用される規格（ASTM F739又はEN 374）に基づいて行わなければならない。行う作業に応じて化学防護PPEを使用し、さらに、化学防護手袋、ブーツ、化学防護エプロン、化学防護スーツ、及び顔面を完全に覆う保護具を併用してもよい。PPEの製造者に照会して破過時間情報を取得し、交換が必要になるまでPPEを使用できる時間を決定すること。下表は、手袋の選択過程に役立つ利用可能な産業データに基づき、参考としてのみ用いることを目的にしているが、手袋の製造者から提供されるデータに異なる指定がある場合はこの限りではない。

化学手袋の材料	厚さ (mm)	典型的な破過時間 (分)
ブチル	0.7	120
ニトリル	0.8	240
バイトン ブチル	0.3	240

呼吸器系の保護：通常、呼吸器系の防護を必要としない。作業により鉱油ミストが発生する場合は、空気中の鉱油ミストの濃度が許容曝露限界以下であることを確認する。もしそれ以下でない場合は、測定濃度の本物質から適切に保護することができる認定呼吸装置を着用する。空気浄化式呼吸装置には、

粒子用カートリッジを使用する。
 空気浄化式呼吸装置では適切な防護ができない場合には陽圧空気供給式呼吸装置を使用する。

労働曝露限界値：

構成成分	国/ 機関	形状	TWA	STEL	Ceiling	Notation
高度精製鉍物油（C15 - C50）	ACGIH（米国産業衛生専門家会議）	---	5 mg/m ³	10 mg/m ³	---	---
高度精製鉍物油（C15 - C50）	JSOH	---	3 mg/m ³	---	---	---
グラファイト	ACGIH（米国産業衛生専門家会議）	吸入性画分	2 mg/m ³	---	---	---
グラファイト	JSOH	吸入性粉じん	0.50 mg/m ³	---	---	---
グラファイト	JSOH	総粉じん	2 mg/m ³	---	---	---
グラファイト	JSOH	---	0.50 mg/m ³	---	---	---
脂肪酸、カルシウム塩	ACGIH（米国産業衛生専門家会議）	吸引性画分	10 mg/m ³	---	---	---
脂肪酸、カルシウム塩	ACGIH（米国産業衛生専門家会議）	吸入性画分	3 mg/m ³	---	---	---
二硫化モリブデン	ACGIH（米国産業衛生専門家会議）	吸引性画分	10 mg/m ³	---	---	---
二硫化モリブデン	ACGIH（米国産業衛生専門家会議）	吸入性画分	0.50 mg/m ³	---	---	---

適切な数値については当局にお問い合わせください。

9. 物理的及び化学的性質

注意：以下のデータは標準的な値であり、製品規格を示すものではない。

色調： 黒～灰色

物理的状態： 半固体

臭い： 石油臭

臭いの閾値： 利用可能なデータなし

pH： 利用可能なデータなし

蒸気圧： 利用可能なデータなし

相対ガス密度： 利用可能なデータなし

粒子特性： 利用可能なデータなし

沸点： 371°C (699.8° F)（典型例）

溶解性： 無視可能

凝固点： 利用可能なデータなし

融点： 99°C (210.2° F)（典型例）

比重: 0.88 @ 16°C (60.8° F) (典型例)
密度: 0.94 kg/l @ 15°C (59° F) (典型例)
粘度: 1000 mm²/s @ 40°C (104° F) (典型例)
温度膨張 係数 / ° F: 利用可能なデータなし
蒸発速度: 利用可能なデータなし
n-オクタノール/水 分配係数: 利用可能なデータなし
燃焼特性 (固体/気体): 利用可能なデータなし
分解温度: 利用可能なデータなし
沸点範囲: 利用可能なデータなし

引火性性質:

引火点: (クリーブランド オープン カップ) 260 °C (500 ° F) (最低)

自然発火: 288 °C (550 ° F)

可燃性 (個体、ガス): 該当せず

燃焼 (爆発) 範囲 (空気中の容量%): 下限: 該当せず 上限: 該当せず

10. 安定性及び反応性

反応性: 強酸若しくは塩素酸塩、硝酸塩、過酸化物などの強酸化剤と反応する恐れがある。

化学物質の安定性: 本物質は、通常の環境や温度や圧について予期できる保管や取り扱いの範囲内では安定と考えられる

混触危険物質: 該当せず

有害な分解生成物: 何も知られていない。(予測されるものなし)

危険な重合: 有害な重合反応は起こらない。

11. 有害性情報

即時健康障害

眼: 持続的または重大な眼刺激性を引き起こすとは考えられていない。

眼刺激性: 本物質は眼刺激性物質とは考えられない。本製品の試験は行われていない。情報は類似した物質又は製品成分のデータに対する評価に基づいている。

皮膚: 高圧機器情報: 事故によりこの種の物質が高速で皮下に注入されると重度の傷害を引き起こす恐れがある。このような事故が発生した場合、医療機関の手当を受けるようにする。物質が注入された部位の最初の創傷は初め重症には思えないことがある。しかし、手当てをせずに放置しておくと、外観を損なう傷が残ったり影響を受けた部分の切断に至ることがある。皮膚に接触しても持続的または重大な刺激性を示すとは考えられていない。皮膚への接触がアレルギー性皮膚反応を引き起こすとは考えられていない。皮膚からの吸収により臓器に有害性があるとは考えられていない。

急性経皮毒性: 本物質は経皮毒性物質とは考えられない。本製品の試験は行われていない。情報は類似した物質又は製品成分のデータに対する評価に基づいている。

皮膚刺激性: 本物質は皮膚刺激性物質とは考えられない。本製品の試験は行われていない。情報は類似した物質又は製品成分のデータに対する評価に基づいている。

皮膚感作: 本物質は皮膚感作性物質とは考えられない。本製品の試験は行われていない。情報は類似した物質又は製品成分のデータに対する評価に基づいている。

飲み込み: 飲み込んだ場合、有害であるとは考えられていない。

急性経口毒性: 本物質は経口毒性物質とは考えられない。本製品の試験は行われていない。情報は類

似した物質又は製品成分のデータに対する評価に基づいている。

吸入：吸入した場合、有害であるとは考えられていない。石油を基本とする鉱油を含有している。鉱油ミストの推奨される曝露限界値を超える空気中の鉱油ミストの持続的または反復した吸入により、呼吸器系の刺激やその他の肺障害がおこる恐れがある。呼吸器系の刺激症状には咳と呼吸困難が含まれる。

急性吸入毒性：本物質は吸入毒性物質とは考えられない。本製品の試験は行われていない。情報は類似した物質又は製品成分のデータに対する評価に基づいている。

急性毒性予測：未決定

遅延性またはその他の健康障害作用：

生殖毒性：本物質は生殖毒性物質とは考えられない。本製品の試験は行われていない。情報は類似した物質又は製品成分のデータに対する評価に基づいている。

発がん性：本物質は発がん性物質とは考えられない。本製品の試験は行われていない。情報は類似した物質又は製品成分のデータに対する評価に基づいている。

生殖細胞変異原性：本物質は変異原性物質とは考えられない。本製品の試験は行われていない。情報は類似した物質又は製品成分のデータに対する評価に基づいている。

特定標的臓器毒性（単回ばく露）：本物質は特定標的臓器毒性物質（単回ばく露）とは考えられない。本製品の試験は行われていない。情報は類似した物質又は製品成分のデータに対する評価に基づいている。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）：本物質は特定標的臓器毒性物質（反復ばく露）とは考えられない。本製品の試験は行われていない。情報は類似した物質又は製品成分のデータに対する評価に基づいている。

誤えん有害性：本物質は誤えん有害性とは考えられない。

その他の毒性情報：

本製品は、高度な溶剤抽出、水素化分解、または水素添加処理など多くの工程を経て精製された石油基油を含有している。OSHA危険性周知基準（29 CFR 1910.1200）では、油の発がん性の警告は必要とされていない。これらの油は米国国家毒性評価計画（NTP）年報にリストされたことはなく、国際がん研究機関（IARC）でもヒトに対して発がん性がある（第1群）、おそらくヒトに対して恐らく発がん性がある（第2A群）、ヒトに対して発がん性があるかもしれない（第2B群）に分類されていない。これらの油は、米国産業衛生専門家会議（ACGIH）によって明白なヒト発がん物質（A1）、ヒト発がん物質の疑い（A2）、動物に対する完全な発がん物質でヒトでの発がん性は不明（A3）とは分類されていない。

12. 環境影響情報

生態毒性

本物質は、水生生物に有害性はないと考えられている。

製品はまだ試験されていない。この声明は、類似構造物ないし類似成分の声明から引用されている。

土壌中の移動性

利用可能なデータなし。

残留性/分解性

本物質は、容易に微生物によって分解されるとは考えられていない。製品自体は試験されていない。この記述は個々の成分の特性から導き出されている。

生体蓄積の可能性

生物濃縮因子：利用可能なデータなし。
オクタノール/水 分配係数：利用可能なデータなし

オゾン層への有害性：

利用可能なデータなし。

13. 廃棄上の注意

物質を元来の使用目的に準じて使用するか、可能ならばリサイクルする。使用済みオイルのリサイクルまたは廃棄に、オイル収集サービスを利用できる。汚染物質は容器に入れ、適用される規制事項に準拠して廃棄する。認可された廃棄またはリサイクル方法に関して、販売代理店、地域の環境または保健当局に問い合わせること。

14. 輸送上の注意

ここに示した説明が、すべての出荷状況に当てはまるとは限らない。その他の記載要件（例えば、専門名）や輸送様式、輸送量に関する要件については、49CFRまたは適切な危険物規制法を参照。

UN 運送要件： NOT REGULATED AS DANGEROUS GOODS FOR TRANSPORT UNDER THE UNITED NATIONS MODEL REGULATIONS/RECOMMENDATIONS

IMO/IMDG 運送要件： NOT REGULATED AS DANGEROUS GOODS FOR TRANSPORT UNDER THE IMDG CODE

ICAO/IATA 運送要件： NOT REGULATED AS DANGEROUS GOODS FOR TRANSPORT UNDER ICAO

国内規制情報

陸上規制情報：消防法の規定に従う

海上規制情報：船舶安全法の規定に従う

航空規制情報：航空法の規定に従う

15. 適用法令

検索された規制リスト：

01-1=IARC 第1群
01-2A=IARC 第2A群
01-2B=IARC 第2B群
02-1=化学物質排出把握管理促進法（第一種指定化学物質）
02-2=化学物質排出把握管理促進法（第二種指定化学物質）
03-1=労働安全衛生法（製造禁止物質）
03-2=労働安全衛生法（製造許可物質）
03-3=労働安全衛生法（表示物質）
03-4=労働安全衛生法（通知物質）
04-1=毒物劇物取締法（毒物）
04-2=毒物劇物取締法（劇物）

本物質の以下の構成成分は、ここに示した規制リストに記載されている。

高度精製鉱物油（C15 - C50）	03-3, 03-4
二硫化モリブデン	02-1, 03-3, 03-4

消防法：分類なし

既存化学物質リスト：

すべての成分は下記の化学物質リストの要件に適合している： AIIC（オーストラリア）、DSL（カナダ）、EINECS（欧州連合）、ENCS（日本）、IECSC（中国）、KECI（韓国）、NZIoC（ニュージーランド）、PICCS（フィリピン）、TSCA（有害物質規制法）（米国）。

16. その他の情報

改訂項目： セクション05－火災時の特別な危険有害性 情報が追加されました。
セクション06－封じ込めと流出物洗浄の方法および用具 情報が修正されました。
セクション 07－予防手段 情報が追加されました。
セクション08－眼/顔面の防護 情報が修正されました。
セクション08－一般的要件 情報が修正されました。
セクション08－個人用保護具リスト 情報が削除されました。
セクション 08－保護具 情報が追加されました。
セクション 08－皮膚の保護 情報が修正されました。

改訂日： 2022/10/31

本文書で使用されている省略語：

TLV（閾値限界値）	－	閾値限界値	TWA	－	時間加重平均
STEL	－	短期曝露限界値	許容曝露限界値	－	許容曝露限界値
			CAS	－	ケミカル アブストラクト サービス登録番号
ACGIH	－	American Conference of Governmental Industrial Hygienists	IMO/IMDG	－	International Maritime Dangerous Goods Code
API	－	American Petroleum Institute	SDS	－	安全データシート
CVX	－	Chevron	NFPA	－	National Fire Protection Association (USA)
			NTP	－	National Toxicology Program (USA)
IARC	－	International Agency for Research on Cancer			

JIS Z 7253 : 2019/JIS Z 7252 : 2019に準拠し、Chevron Technical Center, 6001 Bollinger Canyon Road, San Ramon, CA 94583が作成。

上記の情報は、我々の目に留まり、現時点で正しいと信じられているデータに基づいている。この情報は、人の制御能力を超えたよく知られていない状況に適用されること、またそれ以降も新しいデータが利用できるようなことから、修正されることがある。ご使用の結果に関して当社は責任を負わない。この情報は、その素材が自分の特定の目的に適合していることを、情報を受けた人が自分で判断するという条件で提供されている。